

## サイバーやネットワークセキュリティだけで安心してませんか？

データ消去（抹消）を一任する誤った認識をしてませんか？

もっとも危ないのは委託処分するパソコンやスマートフォン、USB 等の各種可搬電子記録メディアからの情報流出です。



「マイナンバー制度」では、使用済み情報機器のデータ消去・記録や証明・処分などについて、企業側が実施すべき施策が具体的にガイドライン（\*1）として定められています。Crushbox(クラッシュボックス)シリーズは、このガイドラインに完全対応！情報機器の排出や処分時に考えられる、あらゆるリスクを排除した、「セキュリティ」と「トレーサビリティ」を両立させた国内シェア 95%を誇る No. 1 製品です。

Crushbox シリーズは HMC(ハイドロリック、モーション、コントロール)特許技術を有し、米国（NSA/DoD）準拠のハードディスク V 字破壊に対応、簡便で人気の手動 HDD 破壊機（写真 1）から最高峰の国家機密プロフェッショナルデータ消去複合機（消磁装置＋物理破壊を合体/写真 2）、さらに開発特注装置まで IT セキュリティサービスツールとして政府、政治、金融、研究、医療、教育、外資系企業など、よりセキュアなマイナンバー対応データ物理破壊を希望される各機関・企業様のご要望にお応えいたします。



(写真 1)



(写真 2)



通常の穿孔破壊



米国式V字破壊



## マイナンバー制度でのデータ消去とは・・・



データの消去証明が必要です！

個人番号もしくは特定個人情報ファイルを消去、電子媒体などを廃棄する場合は、消去または廃棄した記録を保存することが必要です。

これらの作業を委託する場合には、委託先が確実に消去または廃棄したことを証明書などで確認するよう求めています。

データ消去の手段が定められています！

特定個人情報などが記録された書類や機器、電子媒体などを廃棄する場合、復元不可能な手段を採用して、専用のデータ消去ソフトウェアの利用、物理的な破壊などを求めています。中小企業にも、特定個人情報等を消去・廃棄したことを確認するよう求めています。

### <参考>

#### 1. HDD米国式物理破壊の概要

国家機密を扱うNSAやDoDでは、使用済のIT機器処分におけるサニタイズに関して厳格な基準※2(下段)が定められています。物理破壊は内部プラッタを損傷、変形させることを強く推奨されております。



Crushbox DB50Pro V字破壊対応アダプタ



米国式V字破壊

※2 NSA/CSS STORAGE DEVICE SANITIZATION MANUAL PURPOSE AND SCOPE  
[https://www.nsa.gov/ia/\\_files/government/MDG/NSA\\_CSS\\_Storage\\_Device\\_Declassification\\_Manual.pdf](https://www.nsa.gov/ia/_files/government/MDG/NSA_CSS_Storage_Device_Declassification_Manual.pdf)